

平成28年度秋田大学研究者海外派遣事業により
実施した研究・教育活動の成果報告について

平成30年4月6日

所属・職名：国際交流センター 准教授

氏名：市嶋 典子

派遣先機関名：ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学（国名：イタリア）

派遣期間：平成28年5月7日～平成29年3月2日

研究課題・目的：「移動する人々」の言語意識とアイデンティティ

□研究成果（列記願います）

・論文

市嶋典子（2018）. 「平和・希望としての日本語——内戦下の日本語学習者の語りから」 ヨーロッパ日本語教育論文集

市嶋典子（2017）. 「内戦，国家，日本語——シリアの日本語学習の語りから」 『現代思想（特集：いまなぜ地政学か——新しい世界地図の描き方）』 2017年9月号=45(18), 236-245.

Mariotti, M., Ichishima, N. (2017). Practical studies in Japanese language education: A report about *Action Research Zero Workshop* in Venice (Italy). *Annali di Ca' Foscari: Serie orientale*, 53, 369-378.

市嶋典子（2016）. 「平和構築への市民性形成」 細川英雄，尾辻恵美，マリオッティ，M.（編）『市民性形成とことばの教育——母語・第二言語・外国語を超えて』（pp. 151-188）くろしお出版.

・学会発表

市嶋典子（2017年11月25日）. 「日本語公共空間と公共性」 細川英雄，牛窪隆太，三代純平，市嶋典子『パネルセッション：日本語教育における公共性の意味と課題』2017年度日本語教育学会秋季大会（朱鷺メッセ：新潟県新潟市）〔予稿集：pp. 47-48〕.

市嶋典子（2017年8月31日）. 「平和・希望としての日本語——内戦下の日本語学習者の語りから」 第21回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム（ポルトガル：リスボン大学）.

市嶋典子（2016年7月8日）. 「海外の日本語学習者の言語選択とアイデンティティ——2016年日本語教育シンポジウム（ヴェネツィア：「カ・フォスカリ」大学）.

・その他

市嶋典子 (2017年12月19日). 「海外における日本語普及政策の展望と課題」 関西学院大学総合政策学部研究会主催講演会 (関西学院大学三田キャンパス).

□教育活動等 (列記願います)

日本語ゼロビギナーを対象としたアクションリサーチゼロ

ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学で日本語と日本学を学んでいる学生たちは、およそ2000人にもものぼる。滞在中、ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学のマルチェッラ・マリオッティ氏、早稲田大学の細川英雄氏と共に同大学の日本語ゼロビギナーの学習者を対象に、全16回の活動を行った。詳細は以下を参照のこと。

<http://ichishima.thyme.jp/report1.html>

□海外派遣事業中の教育・研究活動が、帰国後の研究等の活動にどのように反映されたか
概括ください。

帰国後は、理論と日本語教育実践との往還を目指して、秋田大学国際交流センター日本語教育科目へ反映させている。また、共同研究、調査の継続のため、2018年2月16日～2月27日にヴェネツィア・カ・フォスカリ大学を再訪問した。ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学での研究成果のまとめは、マルチェッラ・マリオッティ (ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学) ・細川英雄 (早稲田大学) ・市嶋典子 (秋田大学) と共著出版予定である。